

あきる野市中央公民館便り

vol. **2**
2021.3

en

えん

親子で楽しいミニクリスマスツリー作り！



縁

地縁、血縁、ゆかり。
人間関係が薄まりつつある現代社会。
だからこそ、公民館での講座や団体活動
を通して、人と人が顔と顔を合わせて交
流し、そこでみなさんの縁が生まれる場
を、みなさんと共に作っていききたいです。

円

公民館ではたくさんの人々が学び合い、
カラフルな「サークル(円)」を描いてい
ます。その一つひとつにそれぞれの雰
囲気や特徴があり、みなさんの笑顔があり
ます。これからも公民館がみなさんの
「円」で溢れますように。

en-

encourage[勇氣つけな]や enjoy[楽し
む]など名詞や形容詞の頭について、動詞
を作る役割の接頭辞「en-」
公民館もみなさんにとって、何かを始め
る、動き出すきっかけとなるような存在に
なれば嬉しいです。

～表紙の写真紹介～

家庭教育講座「ほっこりお家でクリスマス！」でミニツリーとクリスマスリースを作りました。写真は、参加していただいた家族と一緒にミニツリーを作っている場面です。姉弟でそれぞれミニツリーとクリスマスリースを作成し、お母さんがサポートしています。みんな一生懸命、オリジナルの作品を作り、家族で楽しんだ一日でした。



01 「en」にこめた3つの思い / 表紙の写真紹介

02 もくじ / 館長より

03 公民館でどんなところ？

04 今年度から始めました

・あきる野歴史クイズ ・ミニ展示コーナー

06 まなぶ

・寿大学 ・市民カレッジ入門講座
・市民解説員活動推進事業 ・家庭教育事業
・市民企画講座 ・芸術文化推進事業
・コラボランティア事業

12 つどい

・施設紹介

13 むすぶ

・ネットワークづくり

裏面 アクセス / 編集後記

館長より

日頃より、多くの方に公民館をご利用いただき、また各種事業にご参加いただきありがとうございます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で公民館の臨時休館や多くの事業が中止、延期となりました。そんな中でも、感染症対策を行い実施した事業や新たな取り組みをした事業もあります。「en」第2号では、コロナ禍で実施した事業を紹介しています。

来年度も感染症対策を行いながら各種事業を実施していきますので、みなさんの参加をお待ちしています。

生涯学習の主役は市民のみなさん一人ひとりです。「en」がみなさんの学習に役立つことができたら幸いです。

館長 吉岡賢



公民館で どんなところ？

「人びと」

「地域びと」の場

公民館がどのような役割があるか3つのキーワード《まなぶ》《つどい》《むすぶ》に沿って紹介します。

《まなぶ》

公民館は、「住民の方の興味関心」や「地域で困っている事」などについて学ぶ場です。「合唱を始めたい」「絵を描きたい」など、「〜したい」と思うことがあったら公民館へ相談してみてください。公民館では色々な講座や多くのサークルが活動しています。今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が大きく変化しました。公民館も臨時休館をし、施設の利用や事業が出来ない期間もありました。その中で公民館が出来ることを考え、在宅学習として、市民解説員の方の協力を得てあきる野歴史クイズを作成しました。また、感染拡大の防止を徹底しながら他の講座を開催しました。

《つどい》

公民館は「日常の中で気軽に集まることのできる場」です。みなさんの「ちよつと集まりたい」「みんなで練習したい」のために、大小様々な会議室、ステージのある大部屋、台所がある部屋など色々な部屋があります。

一階のロビーでは今年度からミニ展示コーナーを設置しています。家族で作ることが出来る簡単な工作を展示し、紹介していますので「ふらつと公民館へ寄ってみる。」などお気軽にご利用ください。

《むすぶ》

公民館は「地域の様々な機関や団体のネットワーク」を作ります。あきる野市には数え切れないほど多くの機関や団体があります。それぞれの団体が活動を独自に行っています。公民館が結び目となることで、色々な団体が繋がり、これまでになく新しい活動が生まれる。そんな可能性を信じながら、これからも結び目を作っていきます。

今年度から 始めました

楽しく、学ぼう！！

あきる野 歴史クイズ

「あきる野歴史クイズ」は、市民解説員が「市内探訪」や自主研修・研究などで学んだことや訪れた場所から得た、あきる野市の歴史等について、市民の皆さんにも楽しんでいただくとうと企画したものです。

問題は、「考古編」「古代編」「中世編」「近世編(江戸時代)」「近代編(明治から大正、昭和)」「人物編(ゆかりの人々)」「地域めぐり編(街歩き)」「地域めぐり編PART2」「自然史編」「自然史編PART

T2」「伝統産業編」「民俗芸能編」その他「小学生向き問題編」に分けられています。

新型コロナウイルスの感染拡大が収束した際には、この「あきる野歴史クイズ」を参考にあきる野の素晴らしさを体験してみてください。

あきる野歴史クイズは公民館1階ロビーで各編毎に冊子を配布しています。また、あきる野市HPでも公開していますので、ぜひ挑戦してみてください。

人物編 問題

毎年、JR五日市線の東秋留駅・秋川駅・武蔵引田駅・武蔵増戸駅で春になると美しい花を咲かせる桜の木があります。これは、だれがいつ植えたのでしょうか？

答え 坂本安兵衛(さかもとやすべえ)

大正14年、五日市鉄道開通を祝って、私財を投じて5駅全てに植えたもので通称「安兵衛桜」と親しみを呼ばれています。



J R 秋川駅南口

あきる野歴史クイズ

考古編

あきる野歴史クイズ

古代編

あきる野歴史クイズ

中世編

あきる野歴史クイズ

近世編

あきる野歴史クイズ

近代編

あきる野歴史クイズ

人物編

あきる野歴史クイズ

地域めぐり編

あきる野歴史クイズ

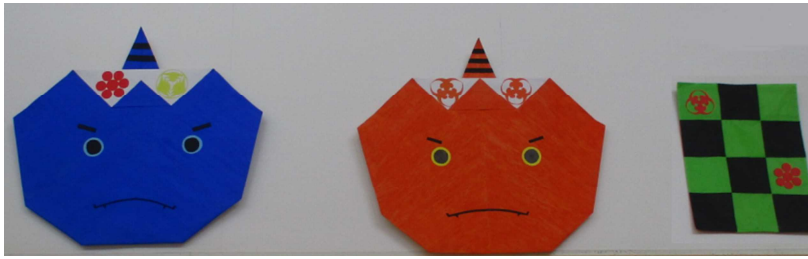
自然史編

あきる野歴史クイズ

伝統産業編

あきる野歴史クイズ

民俗芸能編



みんなで
作ってみよう！！

ミニ展示 コーナー



公民館ロビー展示「ちびっ子鬼」

この事業は、令和2年度から中央公民館1階ロビーに展示コーナーを設け行っています。展示は、お孫さんやお子さん達と一緒に作り、楽しく遊べるものを基本に、手作りの展示品や作り方などの紹介をしています。作り方と折り紙などを持ち帰ることもできます。

今までに行った展示内容を紹介します。

第1回「紋切り(切り絵)遊び」を展示。紋切り遊びは江戸時代に流行したと言われています。紙を折りハサミで切って紋(模様)を作る遊びです。出来上がった紋は、うちに貼るなどして楽しめます。**第2回「へそ紙飛行機と公イカ紙飛行機」**を展示。紙飛行機は古くから子ども達に親しまれ、自宅でも気軽に作ることができます。「へそ・公イカ」共に高く飛ばすことを意識した紙飛行機です。一度ご自身で作り、飛ばしてみてください。**第3回「ビニール袋凧」**を展示。凧あげは、私の小さい頃の冬の遊びの定番でした。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、三密にならないように屋外に出て楽しく遊ぶことをイメージした作品です。**第4回「ちびっ子鬼」**を展示。昨年は、鬼にまつわる物語が大きな話題になりました。そこで、鬼は鬼でも小さくて可愛い「ちびっ子鬼」を取り上げました。

また、ちびっ子鬼の三人の友情と頑張ることの大切さのお話、「ちびっ子鬼物語・勉強の鬼の巻」も作ってみました。一読頂ければ幸いです。

早いものでコーナーを開設し半年が経ちました。各展示約250件のご利用があり、利用者は増え続けています。あきる野市HPでも作り方などをご覧頂けますのでご利用ください。

今後も引き続き、皆さんが簡単に作れて楽しく遊べるものを紹介していきますので、よろしくお願ひします。



これまでの展示



(上) 「紋切り遊び」展示
(下) 「ビニール袋凧」展示

楽しく学んで豊かに生きる

そして— 思いを未来へつなぐ



寿大学文集「絆」

まなぶ

講座・事業紹介

寿大学

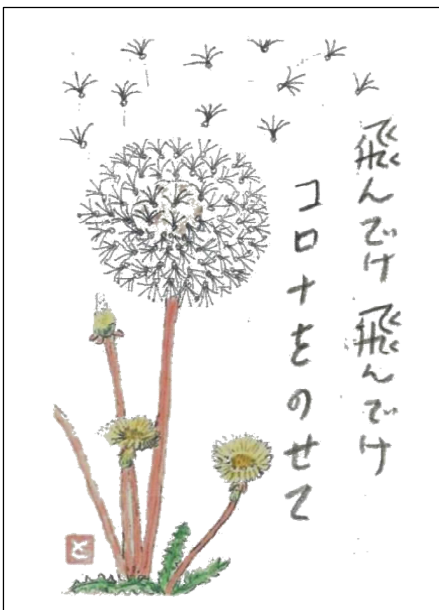
寿大学は60歳以上の市民なら誰でも無料で受講することができます。あきる野市の生涯学習推進事業で、開講して48年目になります。文学、歴史、科学、芸術、健康生活、一般教養等の講義や行事を通して、高齢者の学ぶ意欲や知識の向上を図り、地域社会への参加に役立て、受講生の相互交流を図ることを目的として、秋川校と五日市校の2会場で実施しています。

ところが令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、寿大学は創設以来初めて、講座を全く開催することができませんでした。皆様の安全に配慮しながら、何とか講座を実施できないかとさまざま模索してきましたが、残念ながら楽しみにしてくださっている皆様の御期待にお応えすることができませんでした。

しかし、どのような状況であれ、皆様と共に大切に守ってきた学びの灯を消すことは、決してあつてはなりません。コロナ禍の今だからこそできること、また寿大学の役割として広く社会の皆様のためになるような取組をすべきと考えました。そこで、受講生の皆様に趣味や生きがいについてのことやこれまでの人生についてのこと、そして戦争体験など、自由なテーマで文章を

書いていただくようお願いしました。そしてそれらを文集『絆』としてまとめました。そこに描かれている光景が目には浮かぶようです。執筆者と読み手が共に笑ったり泣いたり、同じ思いを共有できるものとなりました。また、これまで明かしてこなかった戦中・戦後の体験を綴ってくださいる方もおられ、貴重な記録にもなりました。それら埋もれていた記憶や秘めていた思いを未来につなぐことは、寿大学に託された大切な使命のひとつなのだと感じています。

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和3年度 新規受講生の募集は行いませんが、新型コロナウイルス収束後にはもつと多くの皆様に喜んでいただけるような講座を開催できたらと思います。



五日市校 丸山 俊男さんの作品

これは「自然史Ⅱ」の野鳥観察の様子です。講師の浦野守雄先生には講座を2回担当してもらい、座学と現地学習を行いました。



自然史Ⅱ・第4回「野鳥観察」

あなたの、
知らないあきる野が
ここに！

市民カレッジ入門講座

座学では鳥の声をまねる「聞きなし」や先生が実際に撮影した野鳥の写真を見ながら生態などを学び、現地学習では実際の野鳥観察で見る鳥の姿に受講生の皆さんは引き込まれました。

市民カレッジ入門講座はあきる野市が誕生後、平成8年度から市民解説員を養成するために開始しました。市民解説員は入門講座を受講し、12単位と解説実習を修了した人を教育委員会が認定しているものです。隔年で6講座を開講し、座学や現地学習を行います。

今年度は「自然史Ⅱ」「人物伝Ⅱ」「考古学Ⅱ」「地域めぐりⅡ」「近世史」「民俗芸能・交通史」の6講座を開講しました。延期した講座もありましたが、各講座予定通り4回実施しました。各講座、受講生は約10名でした。どの講座も皆さん真剣で、あきる野に住んでいても、知らなかったことや場所、歴史などを学んでいます。

令和3年度は「自然史Ⅰ」「人物伝Ⅰ」「考古学Ⅰ」「地域めぐりⅠ」「中世史」「伝統産業」の6講座を開講する予定です。興味のある講座を受講して、あなたの知らないあきる野を発見してみませんか？



民俗芸能・第3回「農村歌舞伎について」



地域めぐりⅡ・第3回「沢戸橋での解説」

「このメタセコイアの並木は、1995(昭和40)年に都立高校で初めて全寮制普通



「市民解説員」は
ふるさとあきる野づくりの案内人

市民解説員活動推進事業

市内探訪「紅葉の引田を歩く」

科男子校として開校し、その一期生が植えたもので、旧正門から北へ約300メートル、82本あります。裸子植物スギ科の落葉高木で、日本の植物学者の三木茂が1941年に化石で発見しました。その後、中国で発見され、へ生きた化石として話題になったんですよ。」

「へえーそうなんですか。立派な並木ですよ、是非残してほしいですね。」

「これは、昨年の11月20日に行われた市民解説員が案内する市内探訪『紅葉の引田を歩く』でのひとコマです。コロナ禍の中、この日参加した人は14名で、解説員の説明に皆さん、「敷地内に入って並木を歩けるなんて、よかった！」などの感想が多くありました。」

「このほか、令和2年度の市内探訪は、春はコロナのため中止しましたが、秋に5つのコースを実施しました。『古の多西村を訪ねて』『日本最古級の縄文遺跡を訪ねる』『田中丘隅と寺社めぐり』『黄葉と歴史の里を訪ねて』とそれぞれ市内の歴史・文化、自然を訪ね、参加者には、あきる野の素晴らしさを満喫していただけたものと思います。」

市民解説員の皆さんは、「市内探訪」の取組にあたっては、前年度に担当者全員



市内探訪「古の多西村を訪ねて」

で企画会議を行い、班分けと開催時期、見学地やコースの検討を行います。そして、各班で個別打ち合わせを行い、実施計画を立てます。さらに、解説箇所分担当、コースの下見や実地踏査、プレ案内を経て本番当日を迎えます。

皆さんは、これら「市内探訪」のほかにも、市内外からの派遣依頼に対する解説案内、五日市郷土館や二宮考古館での展示解説など、「学んだことを地域に生かす」「あきる野の素晴らしさを多くの人たちに知ってもらいたい」との思いを胸に、生き生きと活動されています。

昨年は、コロナ禍で活動が制限される中、在宅でも市内の名所や、寺社等に親しんでもらおうと、「あきる野歴史クイズ」を作成しました。あきる野市HPで、また公民館では冊子版で手に取ることができ

ともに学び合おう
子育ては
親も子どもも同級生！！

家庭教育事業 (家庭教育学級・ 家庭教育講座)



家庭教育学級「言葉がけひとつで変わる子どもとの毎日」

コロナ禍でお子さんと一緒に過ごす時間が増え、お子さんの育ちに様々な心配事を抱えながらの日々をお過ごしの方も多いのではないでしょうか。

「こんな時だからこそ、今まで以上に皆さんの子育てへの不安や悩みを解消してより良い親子関係を築いていただきたいと考え、お子様と親自身の成長を目指して、家庭教育事業3講座を実施しました。」

まず、子どもの発達段階に応じた問題をテーマにした「家庭教育学級」では、イヤイヤ期のお子さんとの向き合い方に焦点をあてた講座を行いました。遠藤隆一先生(親学推進協会親学アドバイザー)の「言葉がけひとつで変わる子どもとの毎日」では、日頃の子育てについて参加者同志で和気藹々と話をしながら、子どもをそのまま受け入れることや親子がともに学び成長することの大切さを学び合いました。そして、柴田愛子先生(りんごの木代表)の講演「今日からしつけをやめてみた」では、子どもの行動は心や体の発達上でその時期に必要なために行っているものであり、あまりこだわらずに「まあ、いいか」と子どもの心に寄り添うことも大切である等、多くの子育ての秘訣を教えてくださいました。子育てはとても大変なものです。お子さんへの見方や考え方を少し変えるだけで気持ち少し楽になると思います。二度と戻らないこの時期のお子さんとの時間を大切に過ごすためのヒントにしてい

ただければ嬉しいです。

また、親子の絆を深めていただくための「家庭教育講座」の「ほっこりお家でクリスマス！」では、親子で松ぼっくりのミニツリーとリース作りをしました。お子さんの成長を肌で感じ、心がほっこりする一時を過ごしていただきました。

一度受講したからもういいかな：なんて思わず、子育てに迷った時・挫けそうになった時・同じ悩みを持つ人と話したい、そして親子で楽しく体験をしたいと思った時には、ぜひ、何度でもご参加ください。



(上) 家庭教育学級「今日からしつけをやめてみた」
(下) 家庭教育講座「ほっこりお家でクリスマス！」

あなたが創る
みんなの公民館

市民企画 講座

市民企画講座は、あきる野学びプランⅢの重点事業「市民団体との協働による事業の実施」に基づき実施するものであり、市内学習グループ及び市民が自主的に企画・運営し、公民館と協働して多様な学習機会を市民に広く提供することを目的に平成18年度から開始されている事業です。

令和2年度は、9団体と1個人により、11事業の企画提案の応募があり、企画内容や趣旨、目的及び内容等、諸課題の解決につながる学習事業であることから、予算の範囲内において、教育委員会として全事業の採択を決定いたしました。しかしながら、コロナ禍の中で開催によるリスクを考慮し、事業の取り下げが2講座ありました。さらに、緊急事態宣言の発出による延期が1講座ありました。

市民企画講座として実施された講座を3つ紹介します。

1「あめジイの科学あそび」

(企画提案：子ども子育ての会)

講師の雨滝洋介さんの楽しいトークと身近なもので楽しみながら科学の不思議さを学べる講座です。



2「新型コロナウイルス感染拡大の問題を考える 地域医療体制の現状と問題点」(企画提案：公民館利用者ネットワーク)

医療政策の専門家である医師の本田宏さんを講師に、日本の医療体制の問題点やコロナ禍での対応と今後の課題等について学びました。深い内容ながらも楽しい講師のトークに良い時間を過ごすことができました。



3「悠久の漢字文化」(企画提案：生涯学習コーデイネーターの会)

漢字の成り立ちを通してその思想や文化を知り、漢字の大切さを知ることが目的に2回講座として行われました。講師の村上浩さんの漢字に対する熱い思いが、参加者にも伝わったようです。



令和3年度も企画講座を募集します。企画提案の申込み締め切りは、5月10日(月)です。詳しくは、令和3年度市民企画講座募集案内をご覧いただくか、公民館までお問い合わせください。



【一般の部】 最優秀賞「雪の広徳寺」
 沢井康正氏 (撮影地：小和田 広徳寺)

ふるさとを
 Art する

芸術文化 推進事業



中学生以下の部 優秀賞「あきる野の鏡」
 ハッカーソン詩音さん
 (撮影地：雨間 東秋留橋)

市民の芸術文化の向上と魅力あるまちづくりを目的に、平成19年5月より美術関係団体等と実施に向けて協議検討を重ね、同年「あきる野絵画展実行委員会」が発足しました。そして、「第1回あきる野絵画展」を教育委員会と実行委員会との協働により開催し、以後フォトコンテストと隔年で実施。

令和2年度は、「第7回あきる野フォトコンテスト」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため作品展と表彰式を中止した代わりに作品集を作成し配布しました。

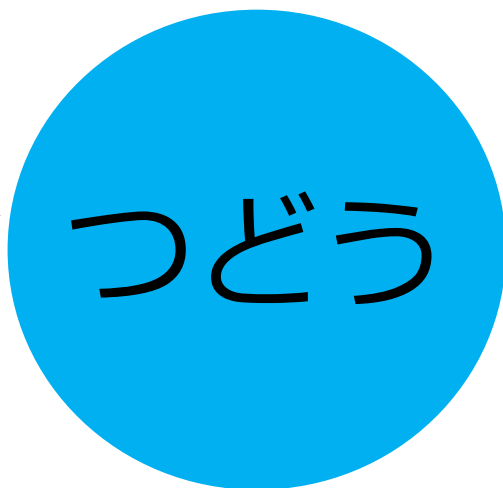
パソコンで
 日常をちょっと豊かに

ITボランティア 事業

今年度は9月から12月まで月2回「パソコンQ&A講習」を実施しました。受講者の質問にITボランティアがマンツーマンでお答えするもので、延べ23名の方に受講していただきました。



ITボランティア



施設紹介



「つたい」「やりたい」

ができる場

公民館は住民のための社会教育施設です。みなさんの「つたい」「やりたい」を実現するための場所として、大小様々な研修室、ステージのある集会室、防音の音楽室、料理ができる実習室、畳敷きの和室などがあります。活動をするためには物理的な場が

必要です。市内には公民館の他にも多くの場がありますので、自分たちにあった活動の場を探してみてください。

1階のロビーには、市民活動をする上で意外と重要な、大量印刷に便利な印刷機と少部数向けでカラーコピーができるコピー機も設置しています。また、サークル活動の展示発表のための市民ギャラリーがあります。和やかな雰囲気のリヤライリーですので、美術館はちよつと敷居が高いと感じてしまう方も、気軽に「ご来場ください。作品を作った本人から制作秘話などが聞けるかもしれません。また、ロビーでは様々なサークル活動やイベントのチラシ・ポスターを置いてあります。インターネットの検索では出てこない、地域に密着した情報も集まっていますので、見にいらしてください。今年度からはミニ展示コーナーを設置しています。誰でも簡単に楽しく工作できる様な作品を展示をしています。

○施設詳細、利用方法については

施設予約窓口 (042-559-1163)

休館日 第1・3・5火曜日

巻末掲載のHPもご覧ください！



むすぶ

ネットワーク作り

地域の「結び目」 としての公民館

公民館は地域のさまざまな機関や団体をつなげることで、地域のネットワークを作ります。

地域には、多くの団体やグループなど

が様々な活動を行っています。また、公民館でも多くの団体が活動を行っています。その個々の活動を繋げていくことにより、新しい活動が生まれることを目指して、ネットワークづくりを行うことが公民館の大切な役割のひとつになります。

公民館では、公民館定期利用団体や市内で文化活動をしている団体の連盟である「文化団体連盟」等の連絡調整、事業相談、支援等を行うことで、グループの育成やネットワークづくりを行っています。

学習相談事業では、個人や団体からの「こんなことできる人いない?」「こんなことしたいんだけど、一緒にできそうな団体ある?」というような相談に対して団体や個人の紹介を行っています。公民館には地域に密着した情報が集まりますのでお気軽にお問い合わせください。

公民館を定期的に利用している団体をまとめた「中央公民館利用団体案内」や「サークルガイド」を作成し、配付しています。興味のある方はお気軽に窓口におたずねください。ロビーに閲覧用もあります。

施設予約は左の窓口へ

学習相談は右の窓口へ



いろいろと情報発信中！

それぞれのコードを読み取り、ご利用ください

まずはこれ！

公式ホームページ

あきる野市 公民館

で検索



毎月の公民館講座募集情報ならおまかせ！

月刊「のらぼう」



あきる野市全体の情報も知りたい！

あきる野市公式 Twitter「**るのびと**」



一斉配信メールサービス



編集後記

▼公民館をより多くの方に身近に感じてもらうための思いから、公民館便り「en」2号を発行いたしました。公民館からの発行物といえばもうひとつ、「月刊のらぼう」があります。今年度の「月刊のらぼう」は、公民館の休館中や市の主催事業の中止などにより、予定した約半分の発行となりました。▼2つの発行物ですが実は内容のすみ分けがあります。「月刊のらぼう」は講座募集がメインになります。一方「en」は実施した講座がどういった内容であったかを参加していない人にも伝えるように作成しています。「月刊のらぼう」「en」とどちらもどうすれば皆さんに楽しんで読んでもらえるか、わかりやすく伝えるかを考えながら作成しています。▼少しでも公民館に興味を持ち、参加してみたい事業やサークルがあれば、お気軽に公民館におたずねください。今後とも公民館をよろしく願っています。

アクセス

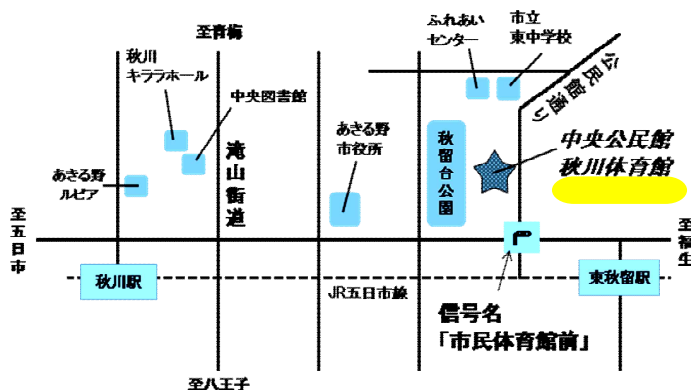
あきる野市中央公民館

〒197-0814 あきる野市二宮 683

学習・講座情報窓口 042-559-1221

施設予約窓口 042-559-1163

F A X 042-559-1227



こちら、地域の情報局！



秋川市中央公民館（昭和 50 年 6 月）五日市郷土館所蔵

みなさんは自分の住む地域のことをどれだけ知っていますか？

左の写真は開館当時の秋川市中央公民館です。開館当初は現在の本館部分のみでした。その後、昭和 54 年に秋川体育館が隣接して建てられ、そして平成 15・16 年に増改築を行い、現在の中央公民館になりました。



○発行○

いつでも学びのすぐそばに

あきる野市
中央公民館